

1
辻先生、ペアレンツキャンプの皆様

寒さの中にもようやく春の気配が感じられる季節となりました。

ペアレンツキャンプの皆様におかれましては、ますます
ご健勝のことと存じます。

このたびは4年間という長きにわたりご支援を
いただきまして誠にありがとうございました。

思い返せば、小学校3年生の夏休み後半から
学童を渋るようになり、家で痙攣を起したり、
弟にあたりたりと問題行動が多くなって
きました。2学期の始業式ごと登校したものの
次の日から玄関に立つと石のよりに固まって
動かなくなりました。

理由を聞いても「先生が嫌」「友達が嫌」
「つまらない」等、聞く度に返事が変わり、
理由が全く分かりませんでした。

それでも、とにかく学校へ連れて行かなくては
いけないという思いで、強引に引っ張って連れて
行っていました。

数日は、学校に行ってしまう何事でもからの
よりに過ぎていたので、すぐに普通に登校できる
よりになるだろうと思いましたが、次第に午前中は
保健室で過ごしたり、給食を全く食べなかったり
という状態になっていきました。

私自身も毎日職場に遅刻しなければならなく
なり、なんとかしなければ...と思い、市の相談室や
病院の相談室に行きました。

話を聞いて頂いて気持ちには楽になりましたが、
受け身の対応にただただ気持ちは焦るばかり
で。

朝の登校渋りはひどくなる一方で途方に
暮れています。

そんな時、学校から母子登校を提案されて、

息子も「ママと一緒にいけばいい」と言うので
しばらく仕事を休職して母子登校をやる事に
決めました。

それからは地獄のような日々でした。

学校まで5分の道のりが1時間かかり、やっと
着いたら帰ると言って暴れたり。

教室へ入れても私は帰宅を許されず
1人教室の後ろや、廊下で見守る日々が続き
ました。それでも息子が学校へ行けるならと
いう思いでなんとかやり過ぎていました。

母子登校を続けていくと、徐々に一人で教室に
入れる日ができたりと変化ができてきたが、

週明けの月曜日々連休明けは後退して
ほい一喜一憂する日々が続きました。

今思えば、あの頃の私は、早く一人で学校に
行ける子になる為には、辛い思いをさせないよりに
しなやかさと笑顔を以て失敗させないよりにしていました。

それが「息子の為にならぬ」とは微塵も思わずに。子供との距離が近くなり、どんどん母子依拠が強くなってしまっていたのだと思います。

矢が見えない母子登校に精神的に限界でした。一番辛いのは息子だと分かっていても、毎日学校へついて行くのがいけないうつ状態が辛くて逃げ出してくる日もありました。

不登校に関する本を片っ端から読みあさり自分自身の知識のなさを実感しました。

そんな時水野先生の著書に出会い、「これだ!」と思いきずに連絡をして、辻先生と面談をさせていたいただきました。

あの時、初めて「大丈夫」と言っていた子供の方に出会って私達夫婦はどれだけ救われた事が。

それから先生の指導のもと、母子登校をやめ、仕事に復帰し、夜間対応、訪問カウンセリング、

ダレトアプローチを経て、4年生の5月30日に復学
しました。

復学時、2日間二重滝りはあつたものの、

田中先生と辻先生ののおかげで乗り越える事ができ、

その後は1度も登校を渋る事はありませんでした。

中学生になった今も毎日元気に登校しています。

今でも長期休み明けはドキドキしてしまいますが...

先生にご指導をいただくよになり、自分自身の

間違つた対応に反省する事が多々ありました。

なかなか実践できず苦しかった事もありましたが、

先生のおかげで何とかここまでやってくる事ができました。

過干渉、メシイに気をつけて困った時は女性対応。

この対応を何度かして、だいぶ落ち着いてきたように

感じます。

ヘアレンツキャンプの皆様に出会い、ご指導を

頂いた事は私にとってかけがえのない財産と

なりました。

これから先、まだまだ色々な事があると思っておりますが、
たくましく成長してくれるように息子を信じて見守って
いきたいと思っております。

教えて頂いた事を忘れる事なく親として楽しく
子育てをしていきたいと思っております。

そして私自身も楽しく生きていきたいと思っております。

最後になりましたが、辻先生をはじめ

諸先生方には大変お世話になりました。

本当にありがとうございました。

お忙しい毎日かと思っておりますが、どうかお体に
気をつけて、益々の活躍をお祈りしております。

2023年2月